

2-2 組織

独立行政法人理化学研究所、公益財団法人高輝度光科学研究センターの役割分担の下、SACLAは運営された。

1) 独立行政法人理化学研究所

SACLAの設置者として、SACLAの高強度・短波長のXFELを安定に供給・利用するための整備・調整運転・維持管理等及び利用者へのXFELの提供に責任を有するとともに、SACLAの光を利用した新しい領域を開拓するための研究や、常に最善のX線レーザーを発生・供給するための技術開発等を実施した。2011年度から理研放射光科学総合研究センター内にXFEL研究開発部門が設置され、同部門を中心に上記の活動が行われている。加えて、2012年4月から先端光源開発研究部門に制御系研究開発グループ、利用技術開拓研究部門にSACLA利用技術開拓グループ、XFEL研究開発部門・加速器研究開発グループに光源物理チームを設置した。更に、2013年3月にはXFEL研究開発部門ビームライン研究開発グループにイメージング開発チームを新設した。

2) 公益財団法人高輝度光科学研究センター

特定放射光施設(SPring-8、SACLA)の利用促進業務を行う登録施設利用促進機関として、SACLAの選定委員会を設置しSACLAの供用開始に伴う利用制度の設計を行うとともに、利用者支援体制の整備を行った。また、SACLA利用者の選定、利用者に対する情報支援・技術支援等の利用支援業務を実施した。

放射光科学研究推進室